



# 三星の風

第1号

平成18年5月1日  
鹿児島県立  
鹿屋高等学校

## 開かれた学校づくり



学校長 井上 明文

学校は、社会に対して閉鎖的であるという指摘を受けることがあります。学校や地域によつて実情が異なるため、一律に評価・断定することはできないと思いますが、子どもの育成は学校・家庭・地域社会との連携・協力抜きにはなしえないとすれば、学校は、社会に対して「開かれた学校」となり、地域社会や家庭に対して積極的に働きかけを行い、家庭や地域社会とともに子どもたちを育てていくべきだと考えています。

こうした観点に立つて、まず学校は、自らをできるだけ開かれたものとし、かつ地域コミュニティにおけるその役割を果たさねばなりません。そのためには、自らの考えや教育活動の現状について家庭や地域社会の人々の正しい理解を得ることが大切であり、保護者や地域の人々に、その考えているところを率直に語り、また、地域の人々の意見を十分に聞くなどの努力を払うべきだと思います。このような取り組みを通じて、学校は、地域社

会や家庭にとつて垣根の低い、開かれた学校になるのではないかと考えます。

本校では、今年度から定期的に学校における教育活動の様子を保護者・同窓会・地域の教育機関や管内の中学校等に情報を発信していくと考えておりますが、できるだけ生徒・職員の頑張っている姿や学校の様子など身近な話題をタイムリーに情報提供していきたいと思っています。

これからの取り組みが、鹿屋高校を身近に感じ関心を持っていただく契機となり、学校に対するご理解をいただけるなら望外の幸せです。



新入生代表宣誓をする  
上山真友菜さん(串良中出身)

## 新たな出発！入学式

四月七日（金）、第六十一回入学式が挙行され、井上明文校長から男子百七十名、女子百四十六名、計三百十六名が入学を許可されました。出身中学校は全部で三十六校です。

井上校長から、自らの意思で鹿屋高校の生徒になったということをはっきりと認識し、第一に、何事にも優先させて勉強に取り組み、第二に、自分の進路実現を果たすために、目標を明確に持って生活してほしい、第三に、他人を思いやる心の持ち主、人の痛みがわかる人間になってほしいということを期待するとの励ましの言葉がありました。希望に胸ふくらませた新入生たちの活躍を期待してやみません。



## 一日遠足

4月21日(金)

- 1年 高須海岸
- 2年 霧島ヶ丘公園
- 3年 高隈登山

## 1学年

鹿屋高校は伝統的に歩かせる学校だ、ということを知ることから聞いたことがあります。旧制中学の時代から徒歩遠行が盛んに行われてきた事を指してそう言われたらいいのです。

入学後の緊張感がまだ解けない我が1学年も、伝統に則り約一〇キロの道のりを歩き、高須海岸を訪れました。当日は幸いにも天候に恵まれ、目的地まで約二時間の道すがら、生徒同士、生徒と職員の話に花が咲き、新しい集団の和の形成に大いに寄与するものとなりました。また、現地ではクラスごとにレクリエーションに興じたり気の合う仲間と食事をしたりと思いいい過ごし、慣れない環境での緊張もほぐれ、心身のリフレッシュに大いに役立ったことと思います。

遠足後の教室の雰囲気は、確かにより和やかなものとなり、新しいクラスがより有機的な営みを開始し始めたように実感しています。1学年生が高校生活を一步一步着実に歩み始めました。一日遠足は、その第一歩を象徴する行事となりました。



いざ出発！(1年)

学二第

### 2学年

第二学年の一日遠足を霧島ヶ丘公園を目的地として実施しました。

朝八時三〇分集合、出席点検・月精教頭による講話・諸注意などを行い、八時五〇分、生徒三〇六名、職員一九名で霧島ヶ丘公園に向けて出発しました。晴天に恵まれましたが、風が強くやや肌寒いなかでの遠足になりました。約七キロの行程を歩き、ほぼ予定どおり一〇時四五分に全員が無事到着しました。

公園では、クラスごとのレクリエーションをしたり、園内の散策をしたり、自然の中で弁当を食べたりすることで、生徒・職員の親睦を深めることができました。生徒諸君も日頃の学習の合間に良い気分転換ができたようです。最後に公園内の清掃活動を行い、ごみ拾いやトイレ掃除等、全員で一生懸命取り組みました。その様子を見た一般の方も清掃をされたということで、公園事務所の職員の方にも好評でした。

遠足という集団活動の中で、学級・学年の新たな豊かな人間関係がつけられ、これからの学校生活が充実していくことと思います。



霧島ヶ丘公園到着(2年)

### 3学年

前日までの悪天候が嘘のように晴れ渡った空のもと、我々三年生の高隈山登山は行われました。

校長先生の激励の後、学年主任の境先生の喝入れもあり、生徒たちも徐々に頂上制覇に向けて士気が高まっていきました。バスで鳴之尾牧場に移動し、学級写真を撮影、そしていよいよ出発。風が強く少々寒い気候の中、頂上の気温を心配しながらの出発となりましたが、意外にも生徒たちは元気で、歌を口ずさむ者、景色を楽しみながら登る者、とにかくもっぴら頂上だけを目指し走って上へと突き進む者など様々でした。



高隈登山(3年)

途中、テレビ塔に到着する頃には登山のペース配分にも慣れた様子で、休憩する表情も笑顔が溢れていました。およそ3時間近くかけて頂上に到着すると記念写真を撮影したり、山のきれいな空気を深く吸い込んだりしながら達成感を満喫している様子などが見られました。頂上は予想通り気温が低い上、風も大変強かったため、生徒たちは昼食を摂ると、短い休憩で下山を開始して支援隊(この生徒たちの活躍は輝くものでした)の協力ももらいながら全員が無事下山を終える頃には、生徒たちの表情はこの登山の達成感からか、また一段と成長して見えました。

恒例行事ではありませんが、困難なことを克服して頂上を征服するという前向きな気持ちと姿勢がある限り、我々第五十九期生は、大学入試を始めとする目標実現に向けてまた一歩前進できたのではないかと思います。全員気持ちを一気にして、一丸となって、今後も最上級生、受験生として活躍してもらいたいと切に願ってやみません。



頂上にて休憩 (3年)

### 国立大躍進！58期生 (平成18年度合格状況)

		18年度	17年度
大 学	国立	137(8)	111(17)
	公立	25(1)	35(3)
短期大学	公立	265(25)	229(61)
	私立	17	20(3)
準大学等		22	42
専修学校等		13	17(1)
就職・その他		53	56
		17	35

( )は過年度卒

### 新任者紹介 (前任校)

- 校長 井上 明文 (屋久島高校校長)
- 教頭 久保田 瑞成 (笠沙高校教頭)
- 国語科 濱川 博司 (開陽高校)
- 前田 寛明 (鶴丸高校)
- 地歴・公民科 立神 倫史 (鹿児島中央高校)
- 理科 常盤 学 (川辺高校)
- 加藤 寛樹 (蒲生高校)
- 前川 可成 (期限付)
- 保健体育科 山内 昭人 (屋久島高校)
- 芸術科 大川内國雄 (武岡台高校)
- 音楽 宮城 圭 (阿久根高校)
- 美術 前園真理子 (薩南工業高校)
- 書道 下入佐弥生 (加世田高校)
- 英語科 塗木ひろみ (南薩養護学校)
- 養護教諭 染川 大作 (鹿児島東高校)
- 事務主事 山下 功 (上甕中学校)

### 5月の主な行事

- 十五日(月) 教育実習開始
- 十六日(火)～十八(木) 中間考査
- 十七日(水) PTA総会
- 二十日(土) 三星道場開始
- 二十五(木) 生徒総会

毎月発行するこの「三星の風」は、鹿屋高校のホームページにも掲載されています。  
<http://www12.synapse.ne.jp/kanoyakoukou/>

追記か編集後記で

毎月発行するこの「だより」は、鹿屋高校  
のホームページにも掲載されています。  
アドレス：

---

---

---

---

---

---